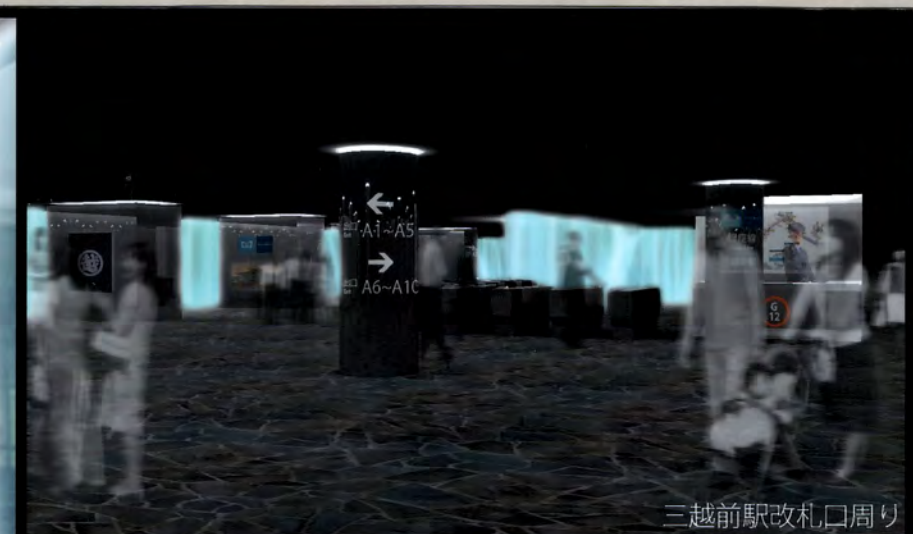
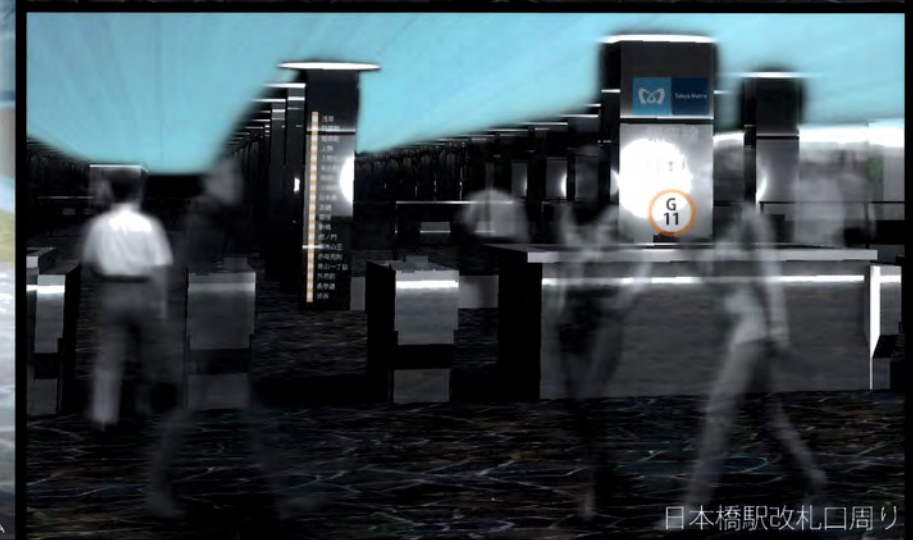




三越前駅プラットフォーム



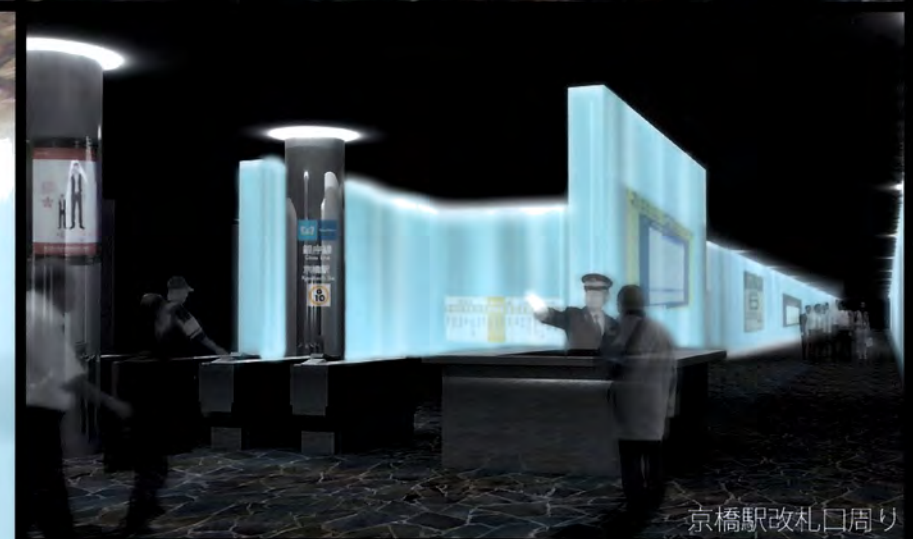
三越前駅改札口周り



日本橋駅改札口周り



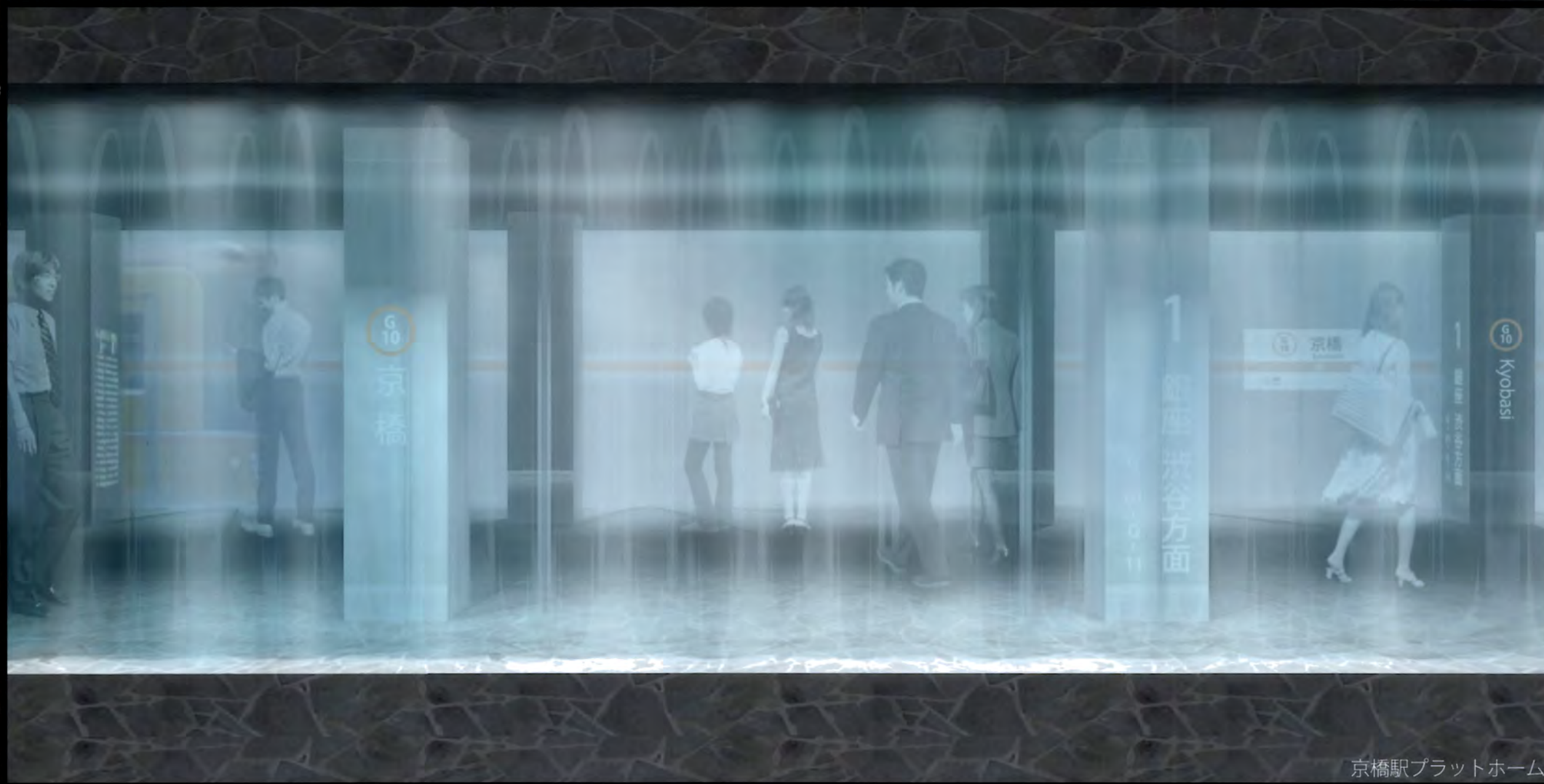
日本橋駅プラットフォーム



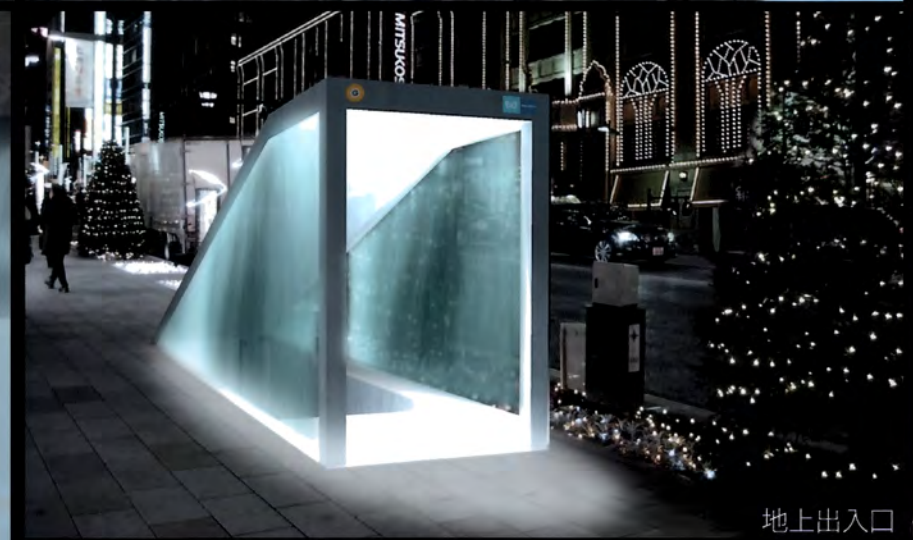
京橋駅改札口周り



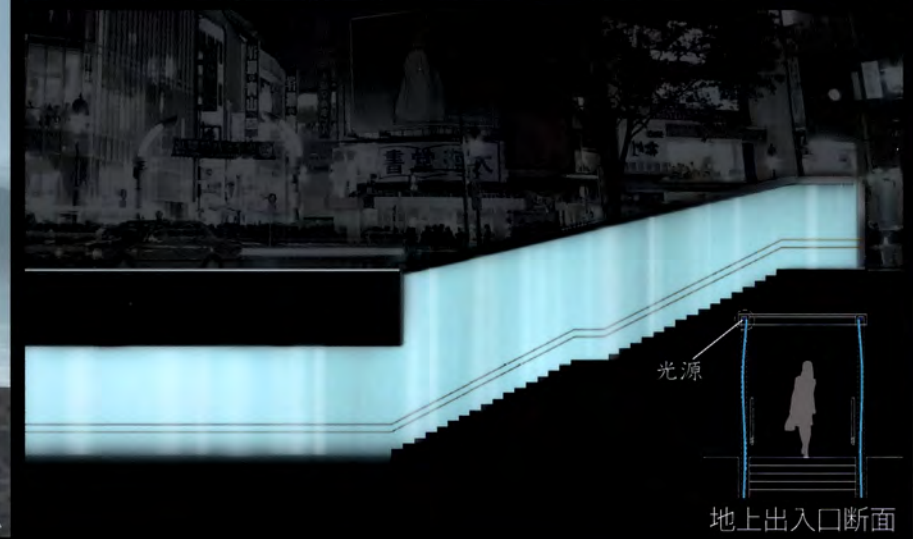
改札口からプラットフォームへの階段周り



京橋駅プラットフォーム



地上出入口

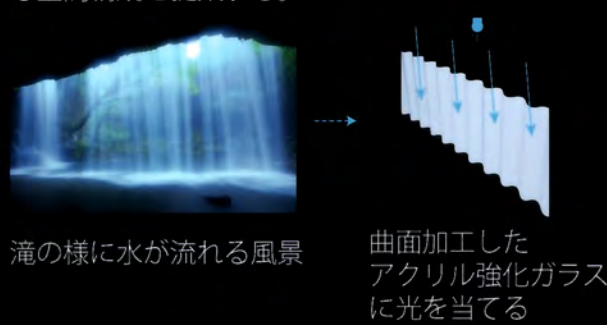


地上出入口断面

癒しの水滝

日本橋・京橋・三越前を含む中央区は、終戦直後まで運河と水運の街であった。縦横無尽に張り巡らされていた運河は、商業文化の発展を支え、また、水辺空間として人々のやすらぎの場所となっていた。しかし、戦後の残土処理や高速道路建設のために埋め立てられ、現在では往時の姿をほとんど残していない。高層ビルや高架橋に埋め尽くされた現在の街には、かつての「水の街」を伝える術がなく人々の記憶から消し去ってしまった。

かつての「水の街」を取り戻す
地上からは切り離された地下空間の特性を生かし、地下空間を水辺の空間にする。日本最古の地下鉄である銀座線が東京の街の歴史を発信する路線として、「水運と共に発展してきた街」を伝える空間構成を提案する。



滝の様に水が流れる風景
曲面加工したアクリル強化ガラスに光を当てる

水辺空間の創出

【壁面のデザイン】 曲面加工されたアクリル強化ガラスに青い光を当てることで、湾曲した面に反射した光が流れる滝を思わせる。

■プラットフォーム



【天井のデザイン】

■プラットフォーム：地下空間に時間の流れを与える水辺の四季を演出する大型スクリーン。地上の変化が地下空間にも表れる。



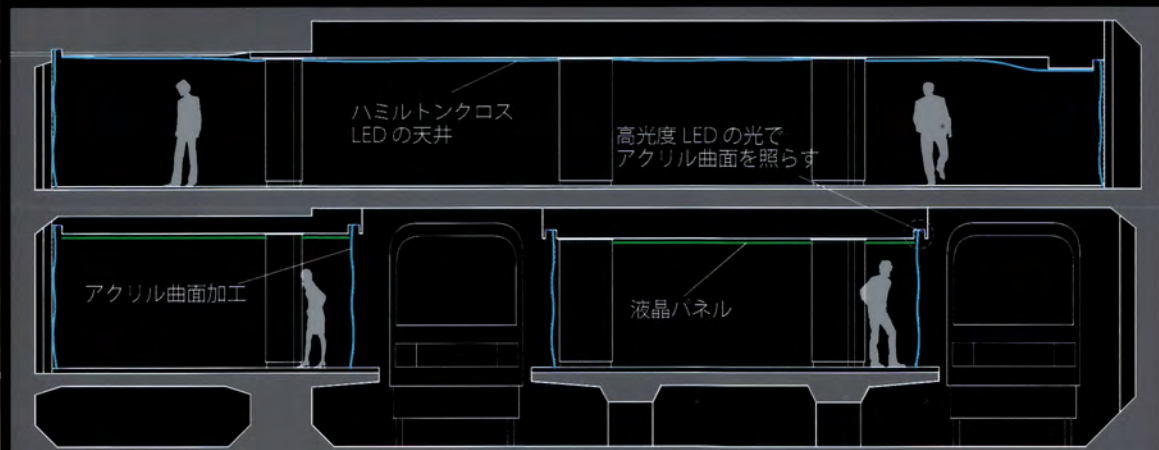
■改札周り



■日本橋改札周り：幻想的な青い光

ハミルトンクロス LED は光ファイバー繊維を集束し、面発光させることで、幻想的でやわらかい光を演出する。水の中のような安らぎを与える空間を作り出す要素となる。

システム



望ましい経験の在り方

ユーザー像	三越前駅	日本橋駅	京橋駅
30代女性。1つ年上の夫と二人暮らし。共働きで毎日遅くまで仕事をしている。	今日は久しぶりの休日に買い物へ。普段は仕事で忙しく、中々買い物にも行けないので、欲しいモノをたくさん買いました。長時間買い物をしたので、歩き疲れた足をゆっくりと運びながら、三越前駅へ。入口に着くと、なんだかいつもと違う雰囲気。階段を下ると、鮮やかな水色で光る壁が幻想的で、水の中にいるみたい。プラットフォームに降りると、大自然の中に水のせせらぎが響くような、地下鉄とは思えない世界で、ベンチに腰を下ろし疲れた足を休めていた。電車が到着するころには、疲れた足も元気に！電車の待ち時間に安らげるなんて「地下鉄も変わったなあ」と驚いた。	今日は仕事で上司に叱られてしまった。華の金曜日だということに、気分が乗らずに帰路につく。日本橋駅に着くと、大きな改札前空間の天井が一面鮮やかな水色に光っていた。みんな飲み会に行っているのだから、少し早めに帰ったので人が少なく、しばらく水色の光に照らされながら、ふらふらと歩いていった。なんだか心が安らいできて、上司に叱られた怒りもどこへやら。プラットフォームに降りる階段は、両側の壁が水のようで、水の中に潜っていくみたい。プラットフォームへ、ホームは季節を感じる紅葉と、滝が流れているような壁。いつもと同じ帰りが心安らく時間になりました。	今日は夫と二人で銀座へデート！久しぶりのデートで、楽しくショッピング。楽しい時間はあっという間で、すぐ帰りの時間に。しぶしぶ帰路に着き、電車に乗りました。京橋駅に着くと、まるで水の中に人がいるような不思議な光景が広がっていた。「きれいだね！」と夫に話しかけると「君のほうがきれいだよ！」となんてベタなセリフ（笑）。いつもは少しさみしくなるデートの帰りの道なのに、いつもと違った地下鉄の演出に、とても楽しい帰りに。次の日本橋・三越前も幻想的な世界で、デートの終わりを鮮やかに彩ってくれました。「また行こうね」と次のデートの約束をしました。